

<霊的備え>

主よ 私の祈りを聞いてください。助けを求める叫びに 耳を傾けてください。
私の涙に 黙っていないでください。私は あなたとともにいる旅人
すべての先祖のように 寄留の者なのです。 (詩篇 39:12)

<理解の手引き>

主は大勝利を収めたアブラム (アブラハム) に対して、「恐れるな」と御声をかけてくださいました。何故なら、アブラム (アブラハム) にはひとつの恐れ、不安があったからでした。それは、彼に子どもが与えられずに、どうして神の約束が成就するのかという不安でした。「盾」：戦いにおける守りのことです。

「ダマスコのエリエゼル」：彼に仕えた忠実なしもべのことです。

アブラム (アブラハム) は外に連れ出され、主の創造の御業を見せられ、もう一度主のことばを聞かされた時、彼の思いは自分自身から離れて、主御自身に向けられていきました。

信仰とは、神と神のみことばに対する全人格的、全存在的応答であるということができません。自分自身に対して、全く絶望した時、そこから神に対する全き信仰が生まれるのです。

<考えてみよう>

(観察) アブラム (アブラハム) にとって、最も大きな恐れや不安は何でしたか？

.....

.....

.....

(解釈) 主は何のために、アブラム (アブラハム) を外に連れ出したのでしょうか？

.....

.....

.....

(適用) 「アブラムは主を信じた」とありますが、このアブラム (アブラハム) の姿勢から信仰についてどのようなことを学ぶことができますか？

.....

.....

.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....

.....

.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....

.....

.....